

保護者様

名古屋市立港明中学校長
福島 多佳久

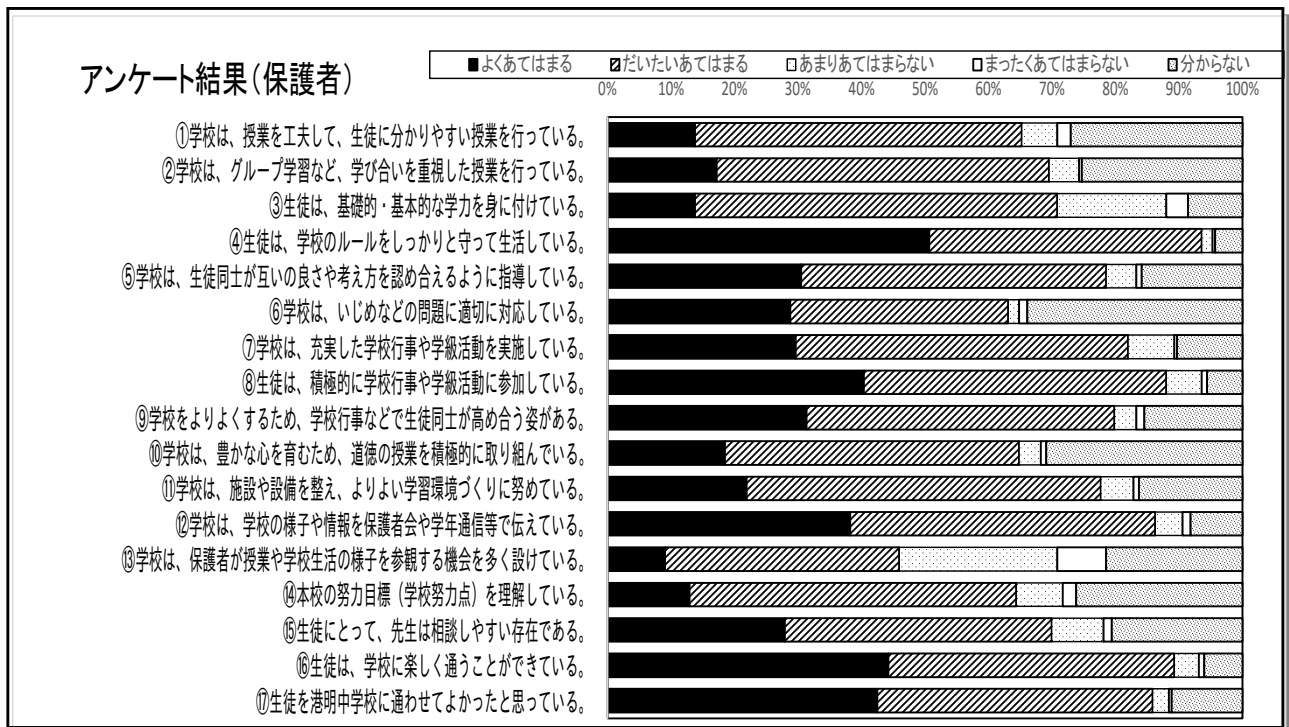
学校教育に関するアンケート結果について

向春の候、日ごろは本校学校教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、先日は港明中学校教育アンケートに関して、多数のご回答とご意見をいただき、ありがとうございました。本校では、開かれた学校づくりの一環として、また学校改善に生かすための手立ての一つとして、2月に保護者の方に学校教育に関する評価をしていただきました。ご協力に感謝するとともに、アンケートを以下のように集約・分析しましたのでお知らせします。また、全校生徒にもアンケートを実施しましたので、併せて結果をお知らせします。

○ 港明中学校教育に関するアンケート(保護者アンケート)について

※ 集計結果のグラフについては、総数に対する百分率(%)で表してあります。

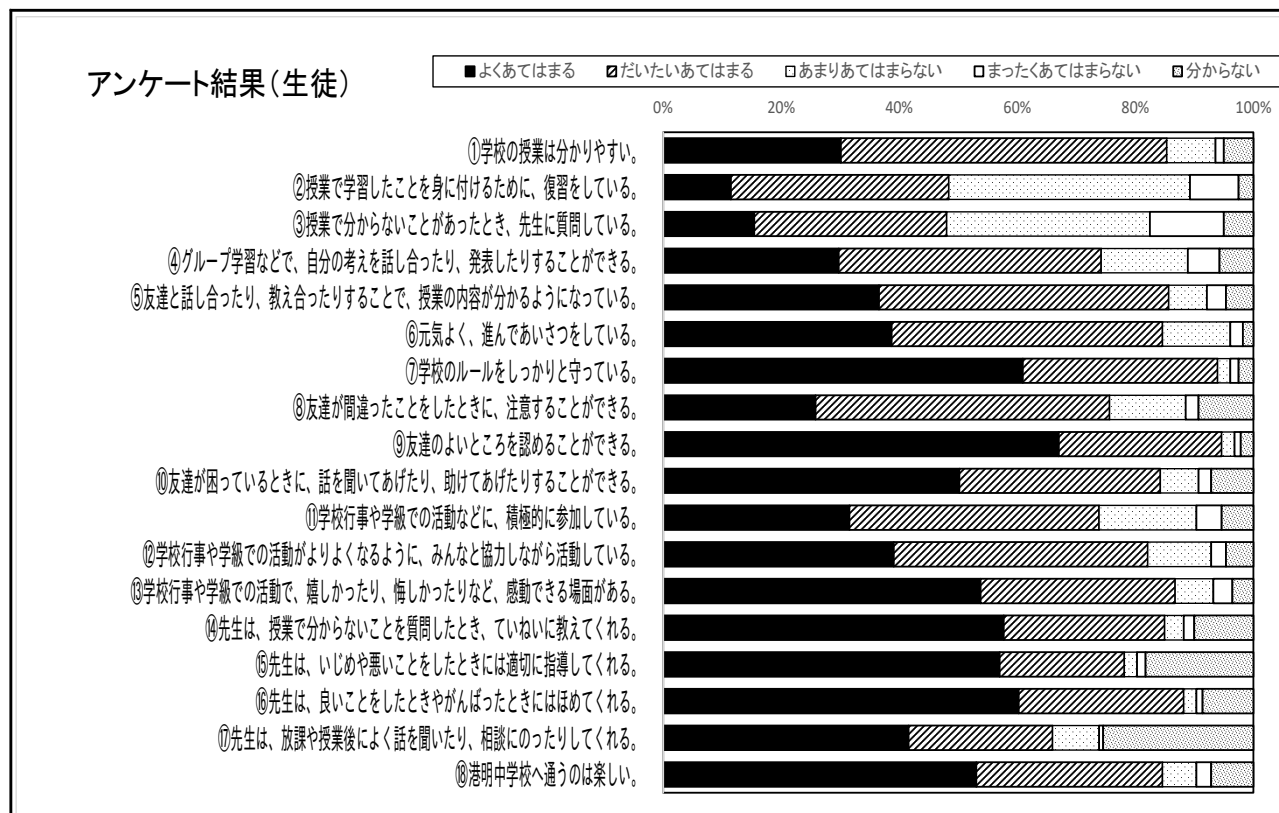


保護者アンケートでは、①、⑥、⑬、⑭の項目で「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した割合が約60%とやや低い結果となりました。また、①、②、⑥、⑩、⑬、⑭、⑮の項目で「分からない」が高い結果となりました。中でも、いじめなどの問題に対する対応については、「分からない」という回答を含めると、昨年度より低くなったものの約35%の保護者が適切に指導されていると感じられていないことは、以前として大きな課題と考えます。学校のルールを守るなどの規範意識を高くもたせながら、互いの個性やよさを認め合い、温かい人間関係を構築することができるよう、道徳教育の充実など教育活動の一層の改善を図ります。また、④「学校のルールをしっかりと守っている」、⑦と⑧の項目にある「学校行事等に対する取り組み」、⑩「学校に楽しく通うことができている」では、本年度も高い結果となりました。これは、新型コロナウイルス感染症予防によって様々な制約がある中でも、生徒が有意義な学校生活を送り、高い規範意識と行事への参加意欲をもつことができていることを示していると考えます。本校の教育活動の充実のために、今後も継続して取り組んでいきたい重要項目です。

また、本校の努力点にもある「ますます学ぶ」姿勢を身に付けることができる学習を一層推進するとともに、生徒が家庭でも「授業が楽しかった」「よく分かった」と言えるような授業の実現に向けて、タブレットなどのICTを積極的に活用し、基礎的な学力の定着を図っていく必要があると考えます。そして、港明中学校の教育活動に関する取り組みに対して、コロナ禍においても保護者と地域の方々から広く理解されるように、発信の仕方などの工夫と内容の充実を図っていきます。

○ 学校生活に関するアンケート(生徒アンケート)について

※ 集計結果のグラフについては、総数に対する百分率(%)で表してあります。



生徒アンケートでは②、③の項目で「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が約50%と比較的低い結果となりました。授業が分かりやすいと考えている生徒は多いものの、その日の学習を定着させるために復習に取り組んだり、授業で分からない内容を先生に質問したりすることができていないと考える生徒が多くおり、より深く学習に取り組もうとする姿勢が身に付いていない様子が見られます。また、保護者の意見と同様に、教師が相談しやすい存在であると回答したり、学習に関して相談しやすいと回答したりする項目の数値が低い結果となりました。今後は、学び合いの中で、ICTを活用した分かりやすい授業や生徒が自主的に学習したいと思う授業を目指します。そして、これまで取り組んできたテスト期間中に各学年で実施している学習会を継続するとともに、休み時間や授業後にも相談や質問をしやすい環境をつくっていくように努めます。

一方で、④、⑤の項目で、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の数値が高い結果となりました。昨年度に引き続き、複数の教科において、学んだ知識や技能を生かして、自分の意見や考えを積極的に発表できる場面を設定するなどの授業の工夫が行われた結果であると考えます。⑥、⑦、⑨、⑩などの項目でも高く、しっかりルールを守り、仲間と共に高め合いながら学校生活を送ることができていると考えます。また、⑫、⑬、⑭の項目も高いように、コロナ禍においても何ができるかを考えて、生徒が前向きな姿勢で学校行事などに取り組むことができていると考えます。今後も、活動の仕方を工夫しながら生徒が活躍できる場面を設定します。また、道徳教育もより充実させていきたいと思ひます。そして、仲間や家族とともに、地域を愛し、愛される学校を目指し、教育活動に取り組んでいきます。